


【香港駐在員事務所】

「港珠澳(香港・珠海・マカオ)大橋建設の概要について」

2008年12月、『珠江デルタ地域改革発展計画綱要(2008～2020年)』が中国政府の国務院常務会議にて審議・原則採択されました。当綱要の中で提唱されている「香港・マカオと珠江デルタの経済一体化」における具体策の内、注目すべき施策の一つである「港珠澳(香港特別行政区・広東省珠海市・澳門＝マカオ特別行政区)大橋の建設」が年内着工へ向けて大きく動き始めました。

1. 香港・珠海・マカオ大橋の概要

1元＝¥14.13 出典：香港経済日報

位置関係等	香港特別行政区新界の葵涌からランタオ島を経由し広東省珠海市の珠江口及びマカオ特別行政区を結ぶ海上大橋	 <p>港珠澳(香港・珠海・マカオ)大橋位置図</p> <p>香港特別行政区</p> <p>香港(葵涌)港</p> <p>香港国際空港</p> <p>ランタオ島</p> <p>珠海</p> <p>マカオ</p> <p>海底トンネル</p>
全長	全長 29.6Km (海底トンネル部分 6.8Kmを含む)	
総工費	約 720 億元 (約 1 兆 173 億円) ※主橋部分：約 380 億元 (約 5,369 億円)	
運行料金 (予定)	乗用車：100 元 (約 1,413 円) 商用車：200 元 (約 2,826 円)	
所要時間 (概算)	香港葵涌港⇄珠海市珠江口：約 60 分 ※従来(海路コンテナ輸送)比半分程度に短縮	
予定工期	着工：2009 年内 完成：2015 年末迄	

2. プロジェクト始動までの経緯

当初は、民間デベロッパーによる共同出資方式で建設する構想でしたが、建設資金が巨額で出資企業の目処が立たず、計画は延期されていました。これを受けて、中国政府は2008年8月、香港・マカオ・中国本土政府による政府出資方式に切り替え、長らく懸案となっていた資金問題に決着を付けました。2009年3月には工事の準備段階に当たる現地調査及び設計作業もスタートし、大橋建設プロジェクトが本格的に動き出しました。

3. プロジェクト完成後の効果

従来、香港と珠海、マカオ間の物流手段は大半が船舶でしたが、大橋完成後はこの三地域の間を車で往來することが出来るようになります。珠江デルタ西側に集積する各種電子部品産業を中心とした工場群と国際貿易港である香港との間のアクセスが多様化し、単に三地域内の物流インフラが整うというだけでなく、観光も含めた相互の経済交流促進にも役立ちます。優位性の高い香港のサービス機能の活用により、香港・マカオ・珠江デルタ地域は、アジア・太平洋地区において最も開かれ、速く、効率的、且つ安全な客運・物流センターとなることを標榜しています。

照会先：法人ソリューション営業部 国際業務室 (東京)電話 03-5223-6672
(大阪)電話 06-6268-6357

当資料は、信頼できるとされる情報に基づいて作成しておりますが、弊行がその正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前の連絡なしに変更されることもあります。当資料は情報提供のみを目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に關しては、お客様御自身でご判断下さいませようお願い致します。 * 禁無断転載